

Fate/staynight ArcherxShirou

# 殺 任意の り 処

Unofficial  
Fanbook  
R18







その視線に気がついたのは  
いつからだっただろう



眠っている俺の後始末をした後

アイツは甲斐甲斐しく



魔力供給が終わると

魔力の消費からか  
浅い眠りに落ちてしまう

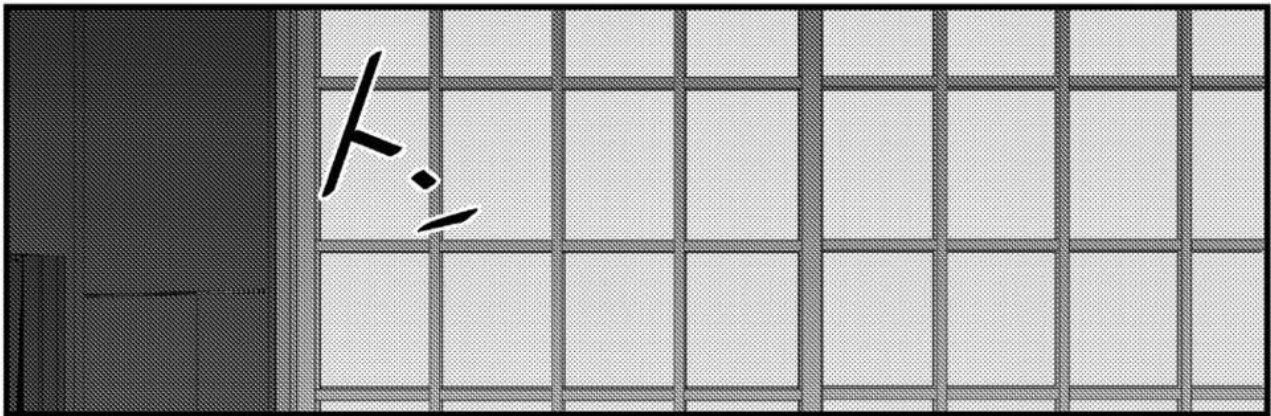


去り際に  
振り返り





殺気のこもった目で  
俺を見る



アイツ…

何なんだ



おはよう  
桜

俺も  
手伝う



日曜はずっと  
桜に任せっぱなし  
だったじゃないか

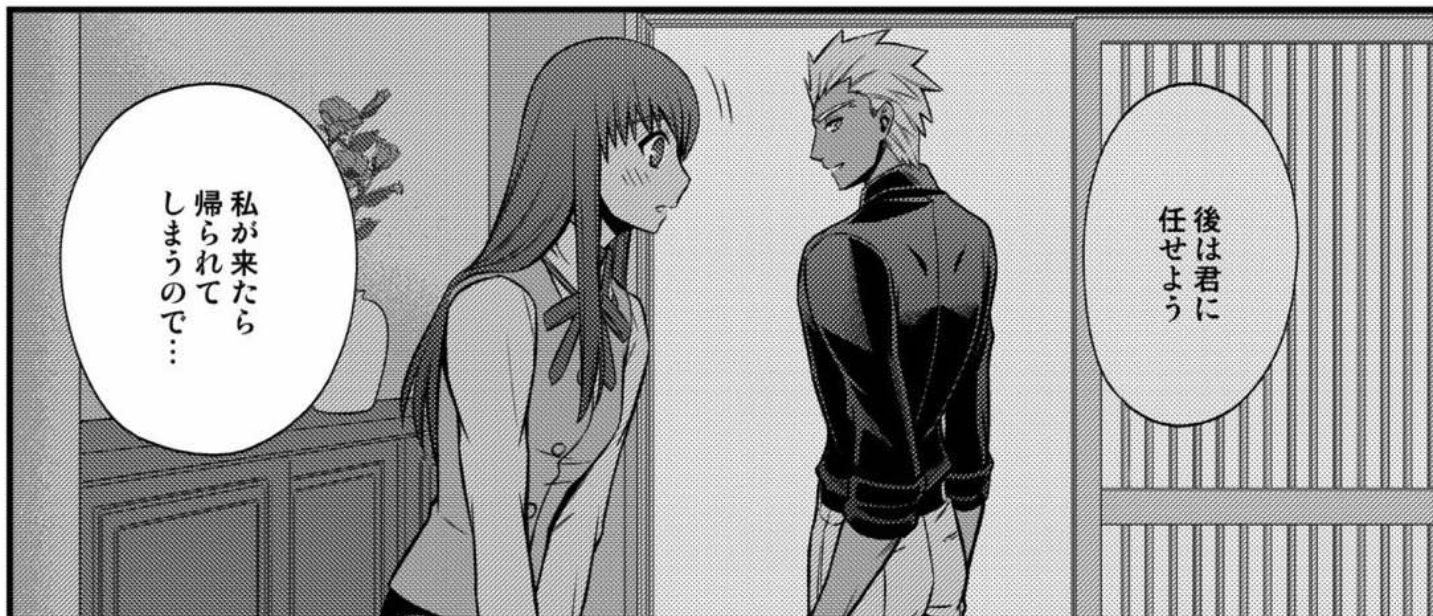
平日までそれじゃ  
家主として  
申し訳がたたない



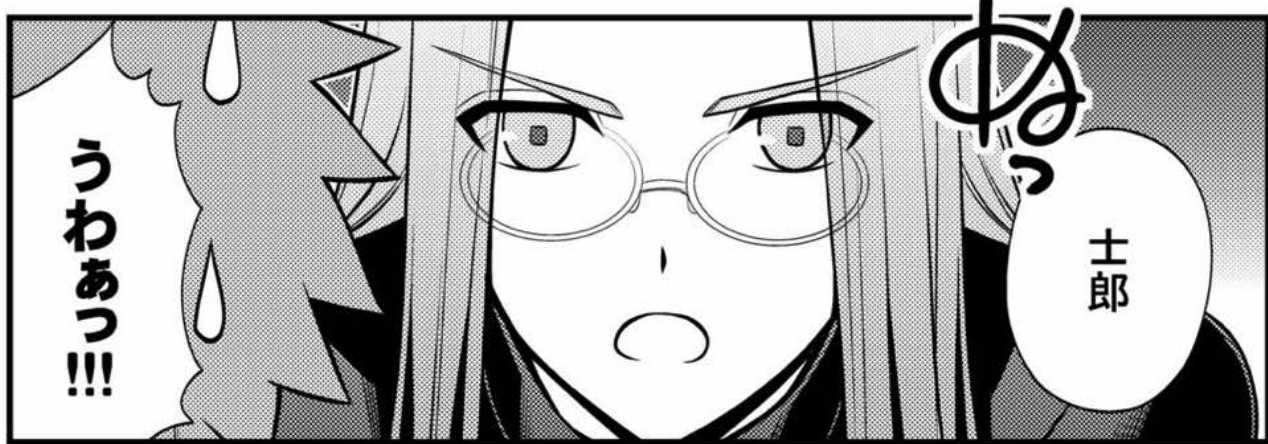
おはよう  
ございます  
先輩

もう出来ますから  
ライダーと一緒に  
座っていて下さい













え

あ

う

その…  
あの…



サクラの  
安眠妨害にも  
なりませんので…

私が夜中にお手洗いに  
行った時に部屋から  
物音が聞こえたって  
いうだけで

ちちちっ  
違うんです!!

別に声が  
聞こえたりとか  
覗いたりとか  
してません!!  
してませんから!!!

サクラ  
墓穴ですよ



カアアアア

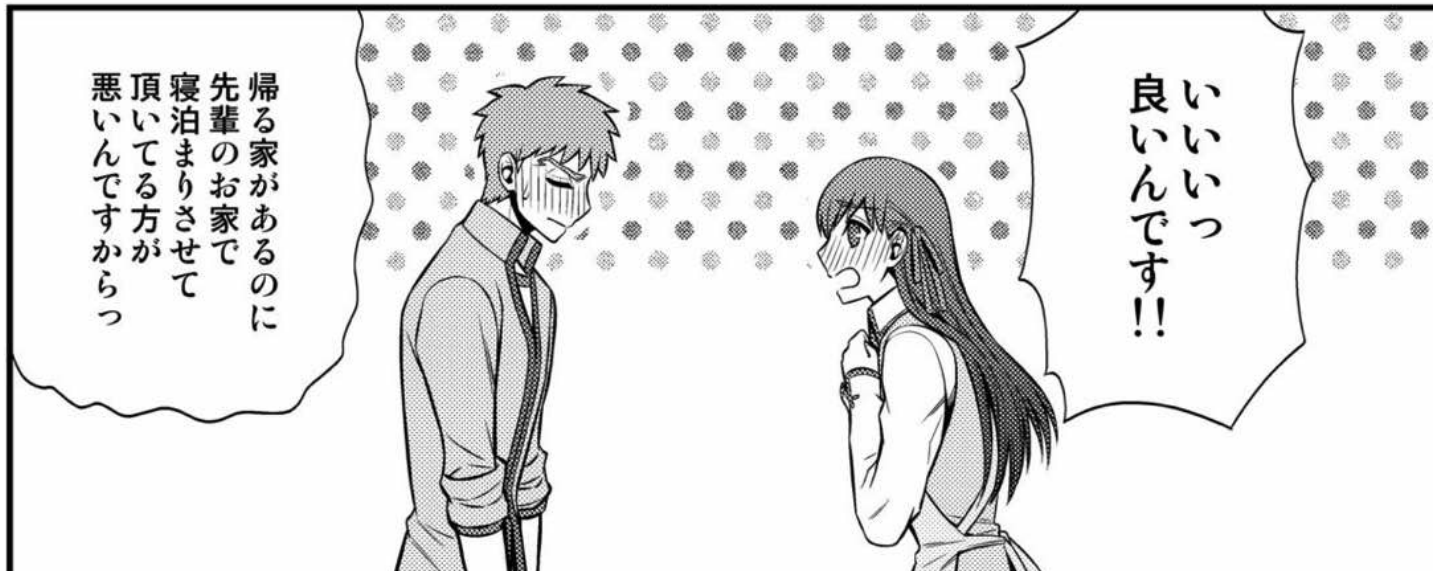
す、すまん  
桜…

次はその

気が  
回らなくて…

気をつける

Pr...



いいいつ  
良いんです!!

帰る家があるのに  
先輩のお家で  
寝泊まりさせて  
頂いてる方が  
悪いんですからっ





満月の晩と  
第一第三の  
週末ですよね？

ねっ  
ライダー！？

サクラが  
それでいい  
のでしたら…

あのっ  
私達その時は  
間桐の家に  
帰りますので…！！

うっ…

そこまで  
把握されてた  
のか…



そうだ

ライダーから見て  
アイツに何か  
変わった様子は  
ないか？

同じ  
サーヴァント  
として

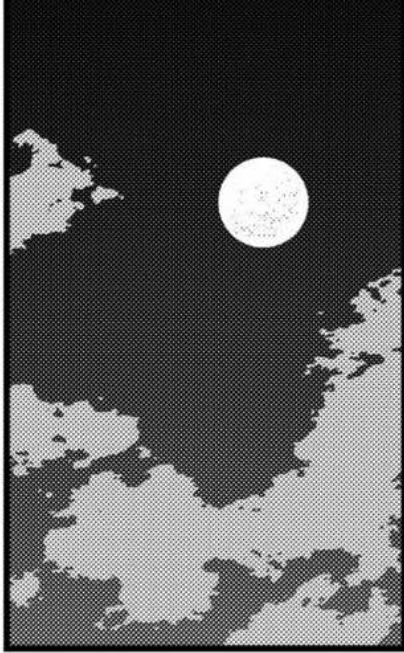


直接  
聞いてみては  
如何ですか

マスター  
として



特に変化は  
感じませんが…



そっくだよな…

うん



アーチャー

待ってたぞ



いいから  
ここに座れ



気色の  
悪い

何だ













世の中には：  
子の行く末を  
思うあまり

我が子を  
手に掛ける  
親がいる

いつそ殺して  
やれたらと  
思うことはある

お前への  
哀れみの  
思いでな

お前も  
そうだって  
言うのか…？

俺は自分の人生が  
どんなもので  
あったとしても

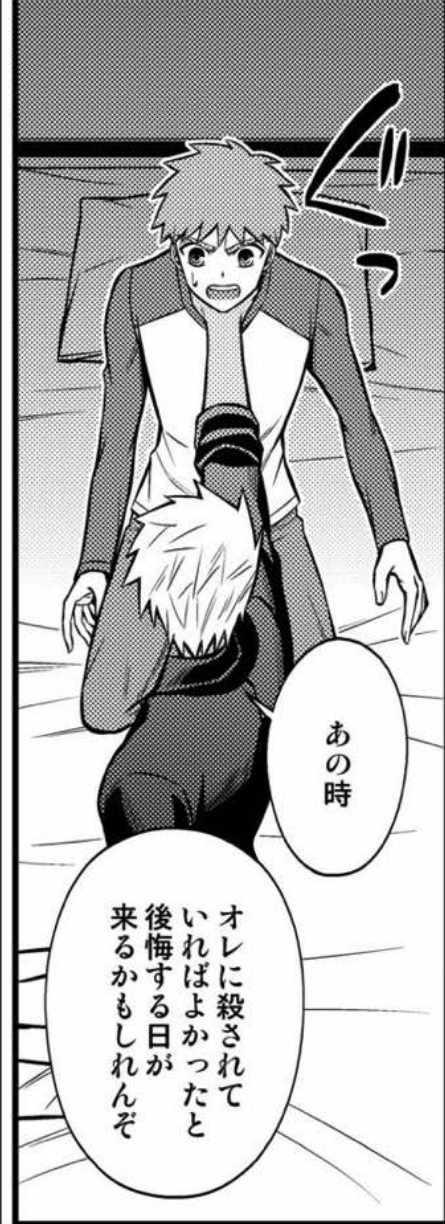
哀れみって…  
何だよ、それ

俺の人生は  
俺が決める  
だから今お前に  
殺される訳には  
いかない

絶対に  
目を背けたり  
しない

勝手なこと  
言うな







変わらん

お前は…



お、お

カ、カ、カ



いいだろう  
マスター

ならば魔力を  
頂戴しようか



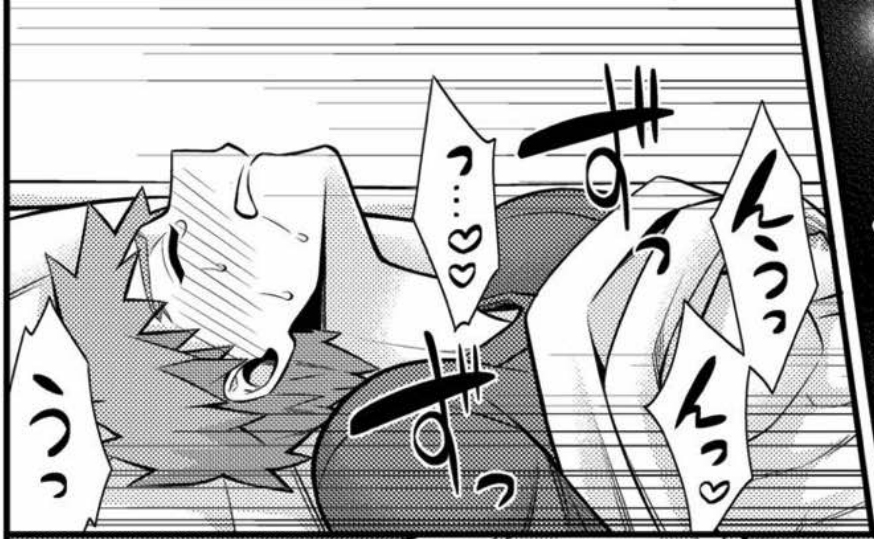
























全く

一体何を  
そんな  
力んでいる

手を噛む奴が  
あるか!

何をしている  
馬鹿者っ!



だって…

俺

声…抑えられ  
ないから…



ばっ

馬鹿  
アーチャーっ

さっ桜に…  
聞かれて  
たんだよ…っ



?

何故声を  
抑える  
必要がある







感度…？



お前の感度が  
わからねば  
こちらも  
都合が悪い

そうか

ならば  
もう声は  
抑えるな



魔術師ならば  
その程度の事は  
心得ておけ

お前と同時に  
私も達せねば

精度の高い  
魔力供給には  
ならんのだ



ん

わかった…

次イキそうな  
時はそう言え



あ、  
そうか…

悪い  
失念してた…











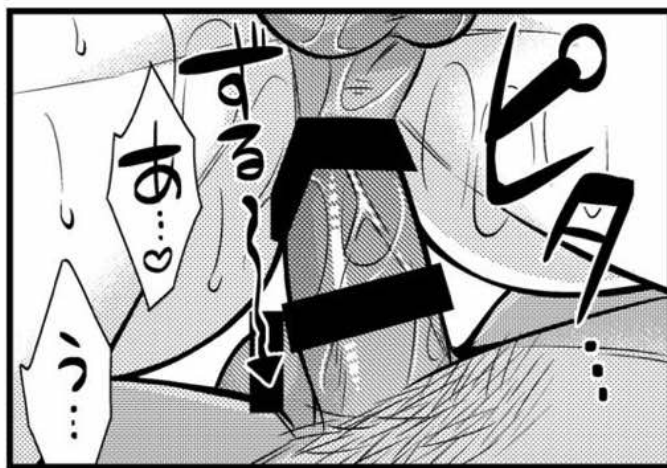
すぐこちらで  
達する体になって  
しまったな

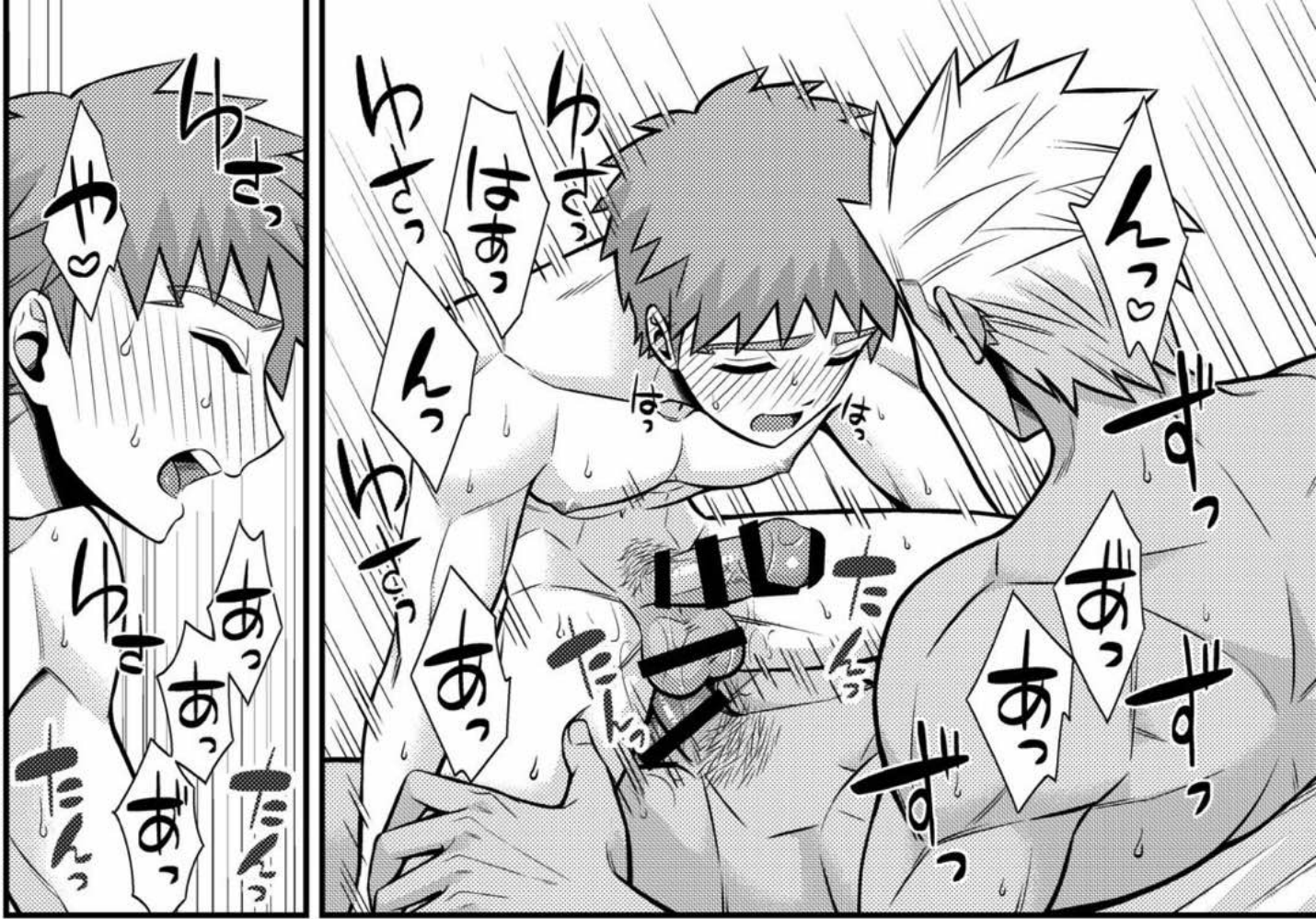
お前は

















はやく

あーちゃ...

イかせて...

おねが...

も...



今度は途中で  
止めたり  
しない

だが  
そのかわり

成功するまで  
何度達するか  
わからんぞ

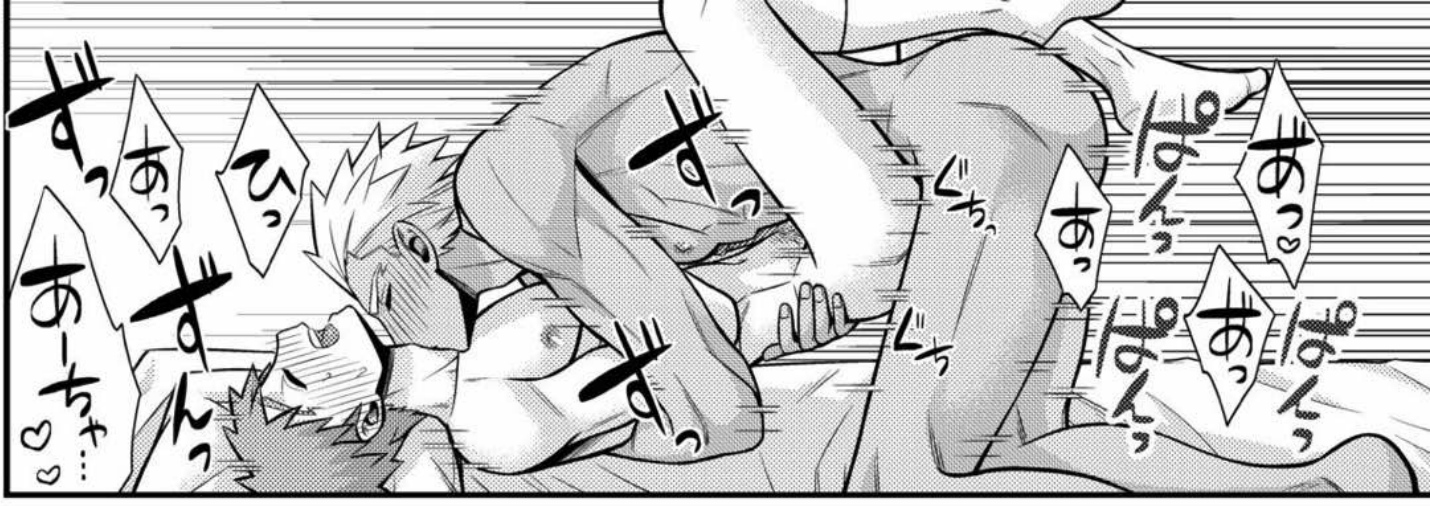


意地悪が  
過ぎたな、  
悪かった

もう  
タイミングは  
気にするな















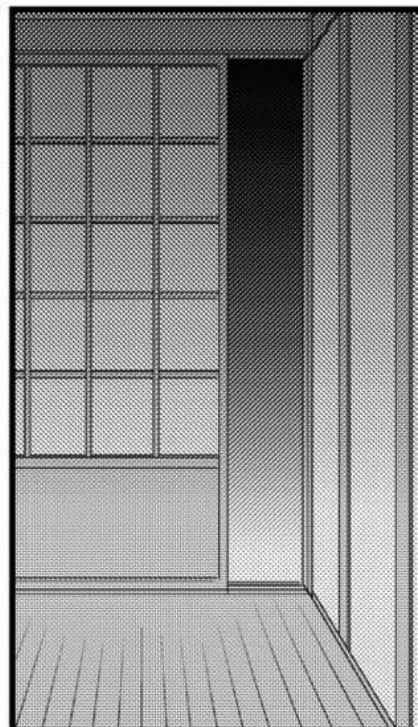
















生前に抱いた覚えはない

少なくとも



こんな感情は知らん



これは本当に  
哀れみなのか？

いや…

この殺意の  
在り処は…

オレの中で  
育ち過ぎた

愛故なのでは  
ないだろうか—



